

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年5月16日(2013.5.16)

【公表番号】特表2012-532878(P2012-532878A)

【公表日】平成24年12月20日(2012.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2012-054

【出願番号】特願2012-519699(P2012-519699)

【国際特許分類】

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 47/34

A 6 1 P 27/02

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月27日(2013.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(EO)_m(BO)_nのエチレンオキシドブチレンオキシド(EO-BO)ブロックコポリマーおよびガラクトマンナンを含む、滅菌水性眼用組成物。

【請求項2】

m は、平均値4.5を有し、そして n は、平均値9～18を有する、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

m は、平均値4.5を有し、そして n は、平均値9～11を有する、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

前記ガラクトマンナンは、グアールまたはその誘導体である、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

前記グアールまたはグアール誘導体は、天然グアール、ヒドロキシプロピルグアール、およびヒドロキシプロピルグアールガラクトマンナンからなる群より選択される、請求項4に記載の組成物。

【請求項6】

前記 EO-BO ブロックコポリマーは、0.001～1.0% w/vの濃度で存在する、請求項1に記載の組成物。

【請求項7】

前記 EO-BO ブロックコポリマーは、0.01～0.1% w/vの濃度で存在する、請求項1に記載の組成物。

【請求項8】

前記ガラクトマンナンは、0.01～2.0% w/vの濃度で存在する、請求項1に記

載の組成物。

【請求項 9】

前記ガラクトマンナンは、0.05～0.25% w/v の濃度で存在する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 10】

ドライアイを処置するための組成物であって、該組成物は、局所投与されることを特徴とし、該組成物は、式($\text{EO}_m(\text{BO})_n$)のエチレンオキシドブチレンオキシド(EO-BO)ブロックコポリマーおよびガラクトマンナンを含む、組成物。

【請求項 11】

mは、平均値4.5を有し、そしてnは、平均値9～18を有する、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 12】

mは、平均値4.5を有し、そしてnは、平均値9～11を有する、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 13】

前記ガラクトマンナンは、グアールまたはその誘導体である、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 14】

前記グアールまたはグアール誘導体は、天然グアール、ヒドロキシプロピルグアール、およびヒドロキシプロピルグアールガラクトマンナンからなる群より選択される、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 15】

前記EO-BOブロックコポリマーは、0.001～1.0% w/v の濃度で存在する、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 16】

前記EO-BOブロックコポリマーは、0.01～0.1% w/v の濃度で存在する、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 17】

前記ガラクトマンナンは、0.01～2.0% w/v の濃度で存在する、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 18】

前記ガラクトマンナンは、0.05～0.25% w/v の濃度で存在する、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 19】

コンタクトレンズを消毒する方法であって、該方法は、該レンズを、式($\text{EO}_m(\text{BO})_n$)のエチレンオキシドブチレンオキシドブロックコポリマーおよびガラクトマンナンを含む抗菌組成物の中に、該レンズを消毒するに十分な時間にわたって浸す工程を包含する、方法。

【請求項 20】

眼に薬剤を送達するための組成物であって、該組成物は、該眼に局所投与されることを特徴とし、該組成物は、1種以上の薬学的に活性な剤、式($\text{EO}_m(\text{BO})_n$)のエチレンオキシドブチレンオキシドブロックコポリマーおよびガラクトマンナンを含む、組成物。

【請求項 21】

前記薬学的に活性な剤は、抗緑内障剤、抗脈管形成剤；抗感染剤；抗炎症剤；増殖因子、成長因子；免疫抑制剤；および抗アレルギー剤からなる群より選択される、請求項 20 に記載の組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0011】**

前述の要旨は、本発明の特定の実施形態の特徴および技術的利点を広く記載している。さらなる特徴および技術的利点は、以下の発明の詳細な説明において記載される。本発明の特徴であると考えられる新規な特徴は、発明の詳細な説明からよりよく理解される。

例えば、本発明は以下の項目を提供する。

(項目1)

式($\text{EO}_m(\text{BO})_n$)のエチレンオキシドブチレンオキシド(EO-BO)ブロックコポリマーおよびガラクトマンナンを含む、滅菌水性眼用組成物。

(項目2)

m は、平均値4.5を有し、そして n は、平均値9～1.8を有する、項目1に記載の組成物。

(項目3)

m は、平均値4.5を有し、そして n は、平均値9～1.1を有する、項目1に記載の組成物。

(項目4)

前記ガラクトマンナンは、グアールまたはその誘導体である、項目1に記載の組成物。

(項目5)

前記グアールまたはグアール誘導体は、

天然グアール、ヒドロキシプロピルグアール、およびヒドロキシプロピルグアールガラクトマンナン

からなる群より選択される、項目4に記載の組成物。

(項目6)

前記EO-BOブロックコポリマーは、0.001～1.0% w/vの濃度で存在する、項目1に記載の組成物。

(項目7)

前記EO-BOブロックコポリマーは、0.01～0.1% w/vの濃度で存在する、項目1に記載の組成物。

(項目8)

前記ガラクトマンナンは、0.01～2.0% w/vの濃度で存在する、項目1に記載の組成物。

(項目9)

前記ガラクトマンナンは、0.05～0.25% w/vの濃度で存在する、項目1に記載の組成物。

(項目10)

ドライアイを処置する方法であって、該方法は、局所的眼用組成物を投与する工程を包含し、該組成物は、式($\text{EO}_m(\text{BO})_n$)のエチレンオキシドブチレンオキシド(EO-BO)ブロックコポリマーおよびガラクトマンナンを含む、方法。

(項目11)

m は、平均値4.5を有し、そして n は、平均値9～1.8を有する、項目10に記載の方法。

(項目12)

m は、平均値4.5を有し、そして n は、平均値9～1.1を有する、項目10に記載の方法。

(項目13)

前記ガラクトマンナンは、グアールまたはその誘導体である、項目10に記載の方法。

(項目14)

前記グアールまたはグアール誘導体は、

天然グアール、ヒドロキシプロピルグアール、およびヒドロキシプロピルグアールガラクトマンナン

からなる群より選択される、項目 13 に記載の方法。

(項目 15)

前記 EO - BO ブロックコポリマーは、0.001 ~ 1.0% w/v の濃度で存在する、項目 10 に記載の方法。

(項目 16)

前記 EO - BO ブロックコポリマーは、0.01 ~ 0.1% w/v の濃度で存在する、項目 10 に記載の方法。

(項目 17)

前記ガラクトマンナンは、0.01 ~ 2.0% w/v の濃度で存在する、項目 10 に記載の方法。

(項目 18)

前記ガラクトマンナンは、0.05 ~ 0.25% w/v の濃度で存在する、項目 10 に記載の方法。

(項目 19)

コンタクトレンズを消毒する方法であって、該方法は、該レンズを、式 (EO)_m (BO)_n のエチレンオキシドブチレンオキシドブロックコポリマーおよびガラクトマンナンを含む抗菌組成物の中に、該レンズを消毒するに十分な時間にわたって浸す工程を包含する、方法。

(項目 20)

眼に薬剤を送達する方法であって、該方法は、該眼に、1種以上の薬学的に活性な剤、式 (EO)_m (BO)_n のエチレンオキシドブチレンオキシドブロックコポリマーおよびガラクトマンナンを含む組成物を、局所投与する工程を包含する、方法。

(項目 21)

前記薬学的に活性な剤は、抗緑内障剤、抗脈管形成剤；抗感染剤；抗炎症剤；増殖因子、成長因子；免疫抑制剤；および抗アレルギー剤からなる群より選択される、項目 20 に記載の組成物。